

日本人だけが知らない
タバコの真実

タバコにふくまれる成分

煙をアルカリ性になるとニコチンが吸収されやすくなります。そのためにタバコには、必ずアンモニアが添加されています。タバコの葉が腐ると困るので、ホルマリン処理されます。そのため燃やすとホルムアルデヒドがでてきます。虫がつかないように、カビが生えないよう、様々な処理がなされているので、無限ともいえる化学物質が煙には含まれています。

これらを規制する法律は今の日本にはありません。原産地も、紙や糊などの成分もすべて企業秘密です。すべて明示している食品の表示と比較してみてください。一種の「無法地帯」になっています。これを、みんなの常識にして、「タバコフリー維新」を起こしましょう。

成分は並の毒ではありません!

- ◎アンモニア (悪臭源、し尿)
- ◎ホルムアルデヒド:ホルマリン (シックハウス症候群、塗料)
- ◎ヒ素 (アリ殺虫剤)
- ◎カドミウム (電池、イタイイタイ病)
- ◎一酸化炭素 (車の排気ガス)
- ◎DDT (殺虫剤)
- ◎シアン (青酸) (殺鼠剤)
- ◎ダイオキシン (ごみ焼却煙)
- ◎4000種類以上の化学物質
- ◎200種類以上の有害物質
- ◎60種類以上の発がん性物質

新版・喫煙と健康:保健同人社:2002より作図

詳しくは厚生労働省のホームページ
<http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/houkoku/seibun.html>
にもあります。



成分を明示した
海外のポスター



監修: 京都府立医科大学地域保健医療疫学 繁田正子

NPO法人 京都禁煙推進研究会

<http://www.tobacco-free.jp>

京都禁煙

検索